

◇-----◇
下水道の最新情報をお届けします！

発行日：2012. 2. 27

下水道機構の『新技術情報』 第35号

(財) 下水道新技術推進機構 <http://www.jiwet.or.jp/>

◇-----◇

だいぶ日が長くなりましたね。暖かくなったり寒くなったりも三寒四温でしょうか。『枯れ木のような桜も体内では、春のお支度をしているのかなあ、木に聴診器をあててみたいなあ』など想像しながら、春を待ちわびる今日この頃です。

さて、今週も機構メールマガジン『新技術情報』第35号をお届けします。

業務に **Tea Break** にご活用ください。

■□■■□トピックス□■■□■

★インフォメーション

・2月16日(木)に平成23年度第3回水処理新技術実用化評価委員会が開催され、中間報告：2件について技術の審議が行われました。

・2月29日(水)にWeb版機関誌「下水道機構情報 plus+」第2号を配信します！

★機構の動き

・今週は、2月28日(火)に第3回水処理技術共同研究委員会、2月29日(水)第3回下水道BCP策定マニュアル(地震・津波編)検討委員会が開催されます

★Tea Break

・文鳥の思い出(下水道機構 匿名希望さんからの投稿です)

★みなさまからのコラム

・掲載情報募集中！

機構の新技術情報でお伝えしたい情報をお持ちの方は本コラムをご活用ください。

情報提供はこちらまで→ jiwet@jiwet.or.jp

★国からの情報

・2月23日付け及び号外下水道ホットインフォメーションです

インフォメーション (最新の話です)

●2月16日に平成23年度第3回水処理新技術実用化評価委員会が開催され、中間報告：2

件について技術の審議が行われました。

最初に、中間報告として、福岡市との共同研究である「NADH センサーを用いた風量制御による窒素除去法に関する実用化研究」について審議が行われました。本研究では、東部水処理センターにおいて平成 23 年 12 月より実証運転が行われており、現在の実証解析で得られている窒素及びリンの水質処理状況を中心に報告がなされました。審議の結果、窒素収支や有機物収支なども念頭におきながら今後も実証運転を進めることとなりました。本審議内容については、3 月の技術委員会で報告する予定です。

次に、東京都との共同研究である「雨水吐口付近に設置可能なコンパクトな合流改善技術に関する実用化研究」について審議が行われました。今回の委員会では、実験装置および方法等について審議が行われ、模擬雨水の考え方等、実験内容について様々な角度から議論が行われました。今後は、今回の委員会での指摘事項を踏まえて実験計画、計測項目等を充実させるとともに、平成 23 年度中に実験装置の製作・設置を行い、平成 24 年度に各種実証実験を行う予定となっています。

●2 月 29 日(水)に Web 版機関誌「下水道機構情報 plus+」第 2 号を配信します！

当機構では、機構の研究成果の概要や活動状況をお知らせするため年 4 回程度の機関誌「下水道機構情報」を発行しておりますが、このうち 2 回を Web 版機関誌「下水道機構情報 plus+」として発行し、情報をビジュアルな形で、より多くの方々へお伝えすることとしました。11 月に配信しました創刊号に続き、第 2 号を 2 月 29 日(水)に配信します。

今号では、300 回を迎えた技術サロンで加藤裕之国土交通省下水道部下水道事業調整官が行った講演「下水道の EXPAND」の概要を掲載するとともに、GCUS 下水道海外水ビジネス共同研究の報告や民間企業による海外展開を紹介するワールドワイド下水道など『海外水ビジネス』をテーマとした話題が盛りだくさんです。そのほか、下水道機構の事業動向や、稼働を開始した話題の施設など、最新の情報をお届けします。

下水道関係の著名な方が子供の頃の写真とともに思い出を語ってもらう「コラムあの頃は…」は、創刊号と同様クイズ形式で、女性の方が登場します。

どなたでも、無料でご覧頂けますので、Web 登録をされていない方がお近くにいらっしやいましたら、この機会にぜひお勧めいただければと思います。

機構の動き (機構の行事予定です)

●2 月 28 日(火) 14:00～16:30(場所:機構 8 階 中会議室)

第 3 回 水処理技術共同研究委員会

●2 月 29 日(火) 13:30～16:00(場所:機構 8 階 中会議室)

第 3 回 下水道 BCP 策定マニュアル(地震・津波編)検討委員会

●3 月 8 日(水) 13:30～15:20(場所:機構 8 階 中会議室)

平成 23 年度 建設技術審査証明事業(下水道技術)交付式

●3月8日(木) 17:00~18:00(場所:機構8階 中会議室)

第302回技術サロン<テーマ:津波及び放射性物質を含む汚泥対策について、
講師:日本下水道事業団 技術戦略部長 野村充伸氏>

※参加申し込みはこちらから→ <http://www.jiwet.jp/school/school-07-302.htm>

●3月9日(金) 13:00~16:45(場所:東京都港区 発明会館)

第17回 下水道新技術研究発表会【東京会場】

3月16日(金) 13:00~16:45(場所:大阪市西区 大阪科学技術センター)

第17回 下水道新技術研究発表会【大阪会場】

※参加申し込みはこちらから→ http://www.jiwet.jp/school/school-04_017.htm

Tea Break (機構職員の感じるまま)

●文鳥の思い出 (下水道機構 匿名希望さんからの投稿です)

今月は健康駅伝や家族会など、なにかと行事の多い月でした。

さて昨年我が家で少し悲しい出来事がありました。それは飼っていた白文鳥が亡くなったことです。5年ほど前、娘の要望で飼い始めたのですが、私自身幼少時から小動物をなど飼った経験がなく当初はおっくうな気持ちでありました。ヒナの段階からピーピー威勢よく鳴くため、娘がこの文鳥を「ピーさん」と名付け、この名前が我が家で共通の呼び名となりました。飼ってみると結構大変で平日の鳥籠の掃除及び餌と水の補給当番は妻と娘、休日は私が担当しました。不思議なことに、妻と娘が鳥籠を掃除しても決して鳥籠を出ることはなかったのですが、私だと即刻鳥籠を飛出し私の肩にのりピーピーと愛らしく鳴くことが日常茶飯事でした。メス鳥であることもあり、よく娘から「ピーさんお父さんのこときつと好きなんだよ」と言われより親しみが出てきて、多品種の餌を与えて一番の好みの餌を選定してあげたり、水浴びしやすい器を種々選定してあげたものです。しかし最期は突然で、昨年末排卵不良から衰弱しあっけなく亡くなりました。享年5才、人間で言えば60才ぐらいでしょうが、もう少し長き生きしてほしかった。ピーさん安らかに眠ってね。

みなさまのコラム (皆様からお寄せいただいた情報です)

●掲載情報募集中!

機構の新技術情報でお伝えしたい情報をお持ちの方は本コラムをご活用ください。
情報提供はこちらまで→ jiwet@jiwet.or.jp

※原則400字以内。なお、お寄せいただいた情報はそのまま掲載することを基本としていますが、掲載の可否は当機構にて判断させていただきます。

都市再生プロジェクト第三次決定「海の再生」を受け、関係省庁、関係地方公共団体が連携して、東京湾再生推進会議を設置し、東京湾の水環境再生に向けて、総合的な施策を推進しています。このたび、陸域対策における平成23年度実施施策のフォローアップ等を行うため、下記のとおり陸域対策分科会を開催いたします。

日時：平成24年2月27日（月）15：00～17：00

場所：（財）商工会館 6階会議室

主な議事：

- （1）平成21年度の負荷量算定結果
- （2）東京湾再生のための行動計画の進捗状況
- （3）東京湾再生のための今後の課題と施策

会議は非公開ですが、冒頭のカメラ取りのみ可能です（要登録03-5253-8432 久岡まで）。

※東京湾再生推進会議の詳細については下記URLをご覧ください。

http://www1.kaiho.mlit.go.jp/KANKYO/TB_Renaissance/index.html

～ 以上、国からの下水道ホットインフォメーションより～



発行元：財団法人 下水道新技術推進機構 企画部

〒162-0811 東京都新宿区水道町3番1号 水道町ビル7F

TEL 03-5228-6511(代表) FAX 03-5228-6512

ホームページ：<http://www.jiwet.or.jp/>

○お伝えたい情報をお持ちの方はこちらから→ jiwet@jiwet.or.jp

○メルマガ配信登録についてのお問い合わせはこちらから→ jiwet@jiwet.or.jp

○ニューズレターはこちらから → <http://www.jiwet.jp/newsletter/20111130/>

○コラムの正解はこちらから→ <http://www.jiwet.jp/newsletter/20111130/seikai.pdf>

